

2013.7.9

物理化学的解釈に基づく電気化学的計測手法の体系化に関する研究委員会 (JCI-TC-134A)

第一回 全体委員会 議事録

日 時：2013年7月9日(火) 18:00-20:00

場 所：名古屋国際会議場 211

出席者：山口委員長、加藤幹事長、宮里幹事、兼松幹事、皆川幹事、小林幹事、山本幹事、
東、伊代田、岡崎、金田、胡桃澤、高谷、福山(敬称略) 14名

配付資料(いずれもメールによる事前配信)：

資料 1-0 第一回全体会議議事次第

資料 1-1 委員名簿

資料 1-2 新規専門委員会 20130619

資料 1-3 全体会メモ

資料 1-4 保護層 WG 活動方針メモ

1. 委員長挨拶(山口委員長)

委員会開催に先立ち、委員長から挨拶がなされた。

現状における電気化学的測定方法に対する活用状況を踏まえ、本委員会では、物理化学理論に基づく体系化はもちろん、コンクリート技術者にとってのマニュアル的資料の作成、あるいは将来の応用開発の際に立ち戻るための基礎資料の提供などを目的としていることが説明された。

2. 自己紹介

出席委員 14名からそれぞれ自己紹介がなされた。

3. 委員会経緯説明と検討内容について

- ✓ 資料 1-2、1-3 に基づき、加藤幹事長から趣旨説明がなされた。
- ✓ ACF との連携が要請されており、議事録は日本語と英語の両方を作成することが
お願いされている(ACF 連携に関する詳しい情報は追って連絡する)。
- 保護層 WG(皆川副査・兼松主査)
 - ✓ 資料 1-4 を用いて皆川幹事より説明があった。335 委員会の報告書をまず通読して
いただき、不足している部分などを是非ともご提案いただきたい。
 - ✓ 保護層 WG の委員の増員をお願いしたい。金田委員、福山委員に参画願う。外部
の方でご推挙いただく方がいれば、ご提案してほしい。可能であれば、是非両方
の WG に参画願いたい。
- 鋼材 WG(宮里主査)
 - ✓ 各組織で実施されている活動と所有している電気化学的測定機器を次回の WG で

お話しいただきたい。特に鉄筋そのものに関する検討結果について、金田委員、高谷委員からも情報提供いただきたい。幹事からは学協会が行っていることを調査して話題提供したい。

4. 次回 WG の日程

WG ごとに次の候補日から欠席の委員も含めて調整する。

保護層 WG： ①9月19日（木）10:00-15:00

②9月26日（木）13時以降

③9月30日（月）午前

④10月3日（木）14時まで

鋼材 WG： ①9月27日（金）14:00-16:00

②9月30日（月）午後

③10月3日（木）14:00-16:00

5. 話題提供（皆川幹事）

下記の内容について、これまでの関連の研究成果が紹介された。

電気化学的手法を用いたコンクリートの品質評価手法および電気防食工法の効果予測の定量化に関する取り組み

- ・ コンクリートの Cl⁻拡散係数と電気抵抗率との関連性
- ・ 非破壊試験（4プローブ法）による電気抵抗率の測定結果に及ぼす諸要因
- ・ 実構造物から取得した情報に基づく電気防食工法の設計支援ツールの開発

以上
(伊代田 記)